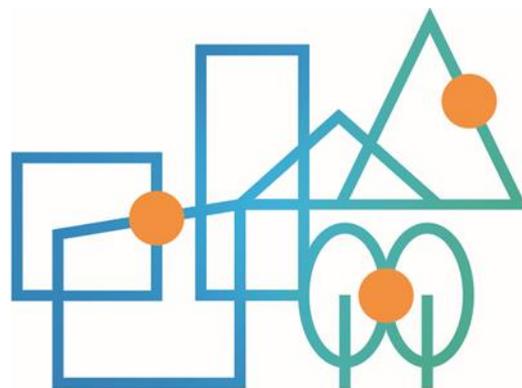


# 脱炭素先行地域事業 進捗報告



脱炭素先行地域  
千葉市

令和6年11月

# 脱炭素先行地域事業 進捗報告（脱炭素先行地域について）

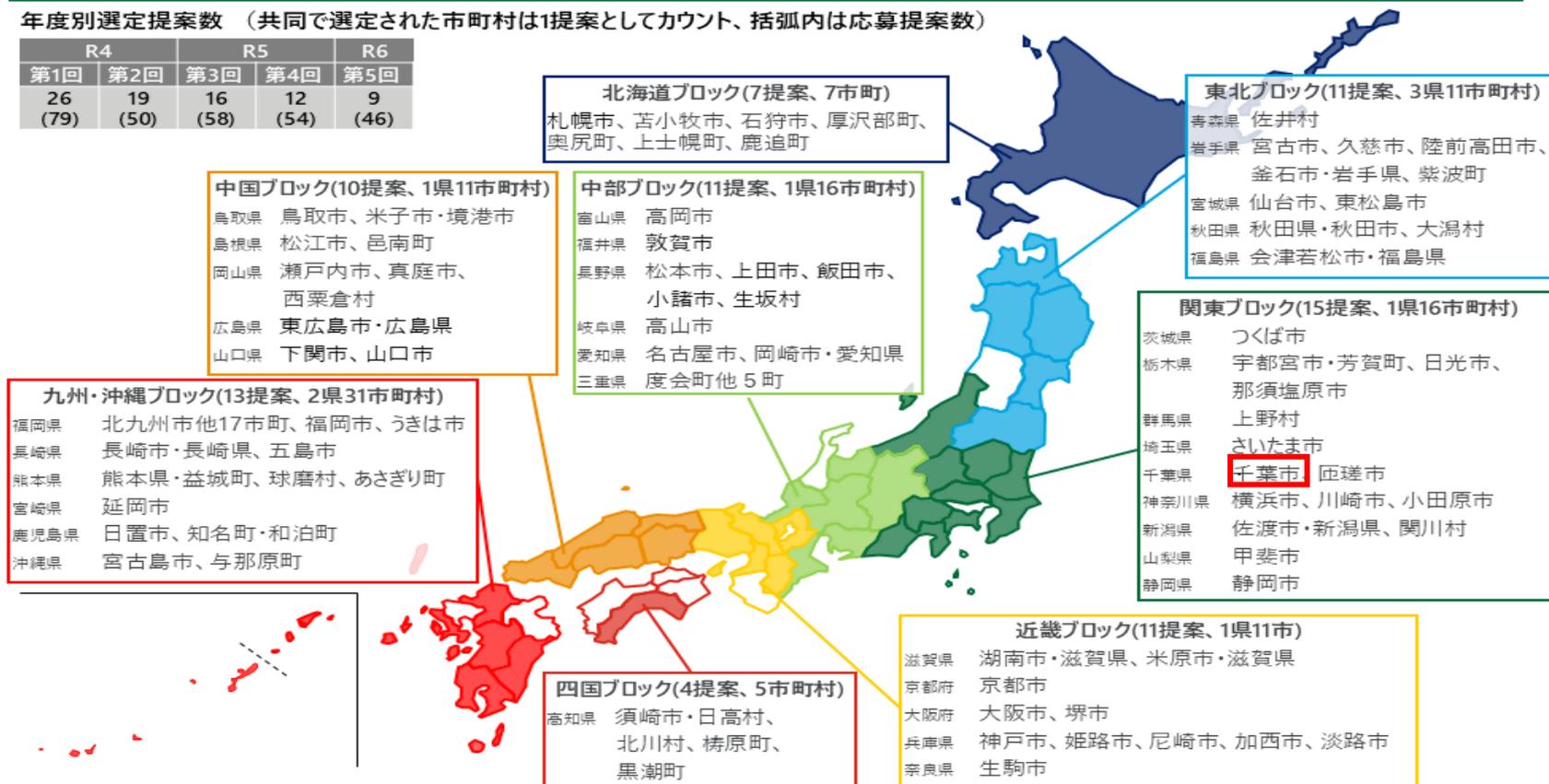
## ＜脱炭素先行地域とは＞

- 環境省が進めている事業であり、2050年カーボンニュートラル（脱炭素）に向けて、**2030年度までに家庭部門や業務部門の電力消費に伴うカーボンニュートラル（脱炭素）を実現する地域**です。
- 環境省は、**2025年度までに少なくとも100か所**の地域を選定する予定です。
- 千葉市は2022年11月（第2回選考）に選定**（現在、第5回までの選考で応募287提案の中から82提案が選定）

## 脱炭素先行地域(82提案)

年度別選定提案数（共同で選定された市町村は1提案としてカウント、括弧内は応募提案数）

R4		R5		R6
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
26	19	16	12	9
(79)	(50)	(58)	(54)	(46)



# 脱炭素先行地域事業 進捗報告 (事業コンセプト)

都市と自然の魅力をあわせ持つ本市の強みを脱炭素の視点でさらに強化し、「行きたい」「住みたい」「安心できる」千葉市を実現するため、2つのエリアと市有施設や一部のコンビニ等の施設群を先行地域として設定

## ① グリーン・MICEエリア

(都市エリア 幕張新都心)

- 「幕張メッセ」、「ZOZOマリンスタジアム」、「イオンモール幕張新都心」など、日本有数のMICE施設や商業施設を対象として構成されるエリア
- MICE施設の脱炭素化やナッジを活用した行動変容施策等により、脱炭素ブランディングを確立し、国際会議等の更なる誘致により交流人口を増加

## ② グリーン・ZOOエリア

(自然エリア 動物公園周辺)

- 「動物公園」、千葉都市モノレールの「動物公園駅舎」と新築のZEH住宅で構成されるエリア
- 「公園・交通・住宅」という住環境一体で脱炭素化に取り組み、住民生活の質の向上を実現
- 脱炭素化された住環境を提供する本市のシンボリックな存在とし、他エリアに波及させることで定住人口を増加

## ③ グリーン・レジリエント・コミュニティ

(施設群 市内全域の公共施設、一部のコンビニ等)

- 公共施設及びコンビニなど地域に密着した施設が対象
- 再エネの地産地消や脱炭素に向けた行動変容の取組を実施することで、市民参画を促すとともに、啓発活動を推進し、脱炭素への理解や関心を深める。加えて、災害時のレジリエンスを強化

# 脱炭素先行地域事業 進捗報告（各エリア説明）

## ①グリーン・MICEエリア



### 実施概要

- 幕張メッセのLED化等による施設の脱炭素化
- ナッジ等による行動変容の促進(フェス開催時のアーティストからの呼びかけやSNSの活用等)
- イベントにおいて割りばしを回収し、動物公園のバイオマスボイラーで活用

### 施設・イベント等の脱炭素化

#### R5年度の実施内容

#### 今後の予定

- ✓ MICE開催支援に係る脱炭素補助金の創設  
・補助金利用件数：5件  
(上記イベントへの来場者数：約34万人)

- ✓ 再エネ・省エネ設備の導入等
- ✓ MICEの脱炭素化手法の検討

### 行動変容の促進

#### R5年度の実施内容

#### 今後の予定

- ✓ X Games Chiba 2023で  
ナッジを活用した割りばし回収  
→ バイオマス燃料化

- ✓ 各種イベント等での割りばし回収
- ✓ 来街者への普及啓発活動

#### <来場者>

→約3万人

#### <回収合計>

→合計19.3kg

(割りばし約4,800膳相当)

#### <CO2削減効果>

→約12kg-CO2



© X Games Japanでの割りばし回収の様子

# 脱炭素先行地域事業 進捗報告（各エリア説明）

## ②グリーン・ZOOエリア

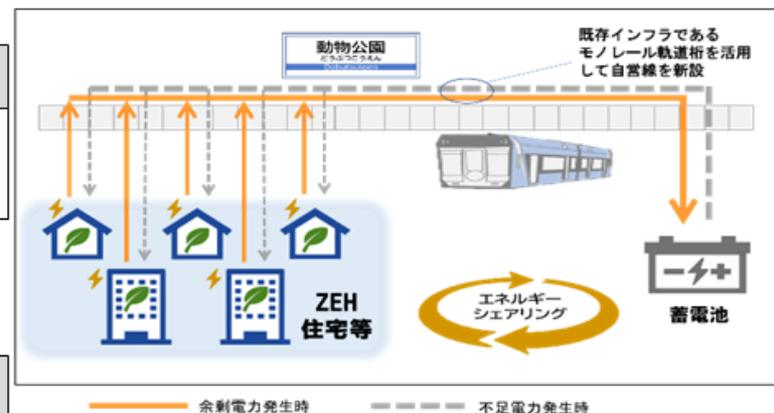


### 実施概要

- エリア内の新築住宅をZEH化、隣接地に大規模蓄電池を設置し、モノレール軌道桁を活用した自営線により、再エネシェアリングタウンの創設
- 動物公園内及びモノレール動物公園駅の駅舎に太陽光発電設備導入
- 動物公園内の飼育施設にバイオマスボイラーを導入。燃料は、動物公園内で伐採した樹木や本市が分別回収している剪定枝、グリーン・MICEエリアで回収した割りばし等を活用

## 🏠 エネルギーシェアリングタウンの整備

R5年度の実施内容	今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ まちづくりの視点による街区案の検討</li> <li>✓ エネルギーシェアリングのスキーム等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 開発計画の確定</li> <li>✓ エネルギーシェアリングの具体化等</li> </ul>



エネルギーシェアリングタウン イメージ図

## 🌳 動物公園での取組み

R5年度の実施内容	今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ボイラー設置に向けたFS調査を実施</li> <li>✓ 太陽光発電設備導入検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ バイオマスボイラーの調達・導入</li> <li>✓ 太陽光発電設備等の導入</li> </ul>

# 脱炭素先行地域事業 進捗報告（各エリア説明）

## ③グリーン・レジリエント・コミュニティ

### 実施概要

- 市内公共施設を対象に、オンサイト太陽光発電、オフサイトフーート太陽光発電、ソーラーシェアリング、清掃工場バイオマス電力を活用
- コンビニ等（市内40店舗程度を想定）でオンサイト、オフサイト太陽光発電を活用
- 公用自動車をEVに転換、充電器の導入

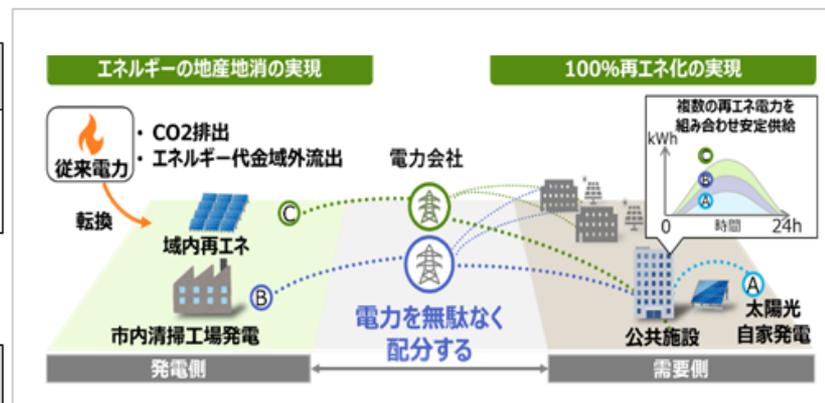


## 脱炭素×レジリエンスの強化

R5年度の実施内容	今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 公共施設(10箇所)に太陽光発電設備・蓄電池を設置</li> <li>✓ 公用車として、EV 29台を導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ オンサイト、オフサイトによる太陽光発電設備等の導入推進</li> </ul>

## エネルギーマネジメントシステムの導入

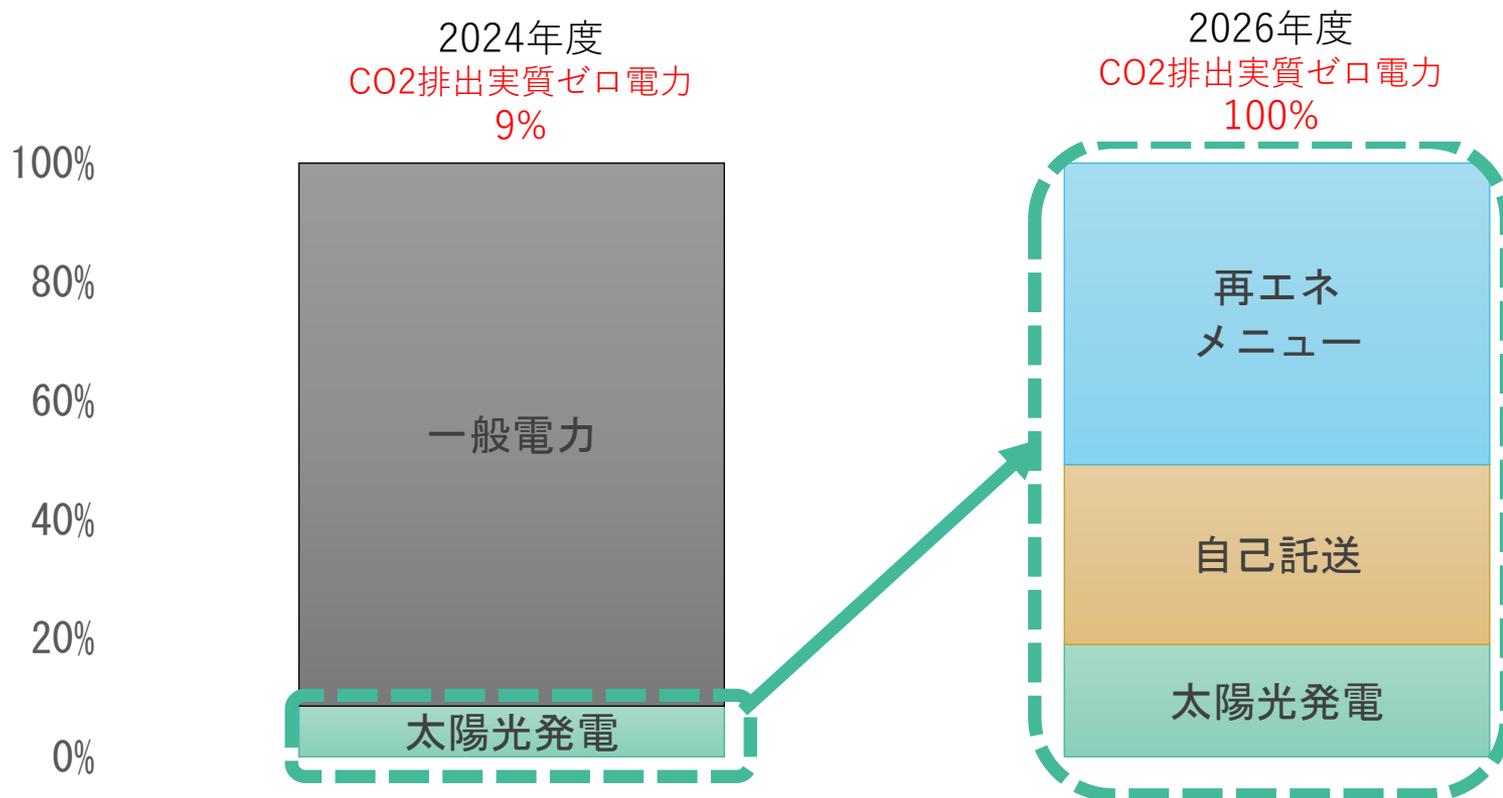
R5年度の実施内容	今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 公共施設の電力需要の調査</li> <li>✓ 管理システム及び運用機器（一部）の設計等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ エリアエネルギーマネジメントシステムの構築を推進 ※R8から運用開始予定</li> </ul>



エネルギーマネジメントシステム イメージ図

# 【参考】2026度における市有施設の電力消費に伴るCO<sub>2</sub>排出実質ゼロの実現

- 2026年度に全市有施設（約750施設）の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを実現できる見通しです。
- 太陽光発電設備の増強、清掃工場で発電する電力を自己託送することで、発電量を増やすとともに、不足分は東京電力等が販売する再エネで発電した電力メニュー（再エネメニュー）への切替を行います。
- 自己託送等により、小売電気事業者から調達する電力量が削減されることから、年間電力コスト約5億円の削減を見込んでいます。



# 脱炭素先行地域事業 進捗報告（千葉市脱炭素先行地域推進コンソーシアム）

官民が連携して、脱炭素先行地域づくり事業を推進するため、「千葉市脱炭素先行地域推進コンソーシアム」を設立しました。（令和5年7月設立総会開催）

## コンソーシアムの目的

千葉市脱炭素先行地域推進コンソーシアムは、多様な主体の積極的な参画や連携を促し、千葉市における再生可能エネルギーの導入や地産地消、市民や事業者などの行動変容の促進等に取り組むことによって**脱炭素先行地域づくり事業を推進し、もって市域における「環境と経済の好循環」及び「環境とレジリエンスの同時実現」を図ることを目的**としています。

## 官民連携した啓発活動の実施

コンソーシアムでは、官民連携して事業を進めていくことはもちろん、**事業を知っていただくための広報活動や啓発活動にも力を入れることとし、プロジェクトチームを発足**しました。  
その取組の一環として、先月**幕張メッセ**で開催された**「エコメッセ」**に、コンソーシアムとして**初出展**し、事業の説明や、会員企業の環境活動などを紹介しました。

## 会員一覧（2024年10月1日現在）

